

令和5年度 学校評価アンケート結果比較

田村市立常葉小学校

1 (1)あなた(お子様)は、毎日8時間以上の睡眠時間をとることができますか。(児童・保護者)

(2)児童は、十分な睡眠をとることができますか。(教職員)

(1)A 毎日8時間以上寝ている。

(2)A ほとんどの児童が元気に生活している。

健康

B 週の半分以上は8時間以上寝ている。

B 2～3割の児童が眠そう、疲れている様子で生活している。

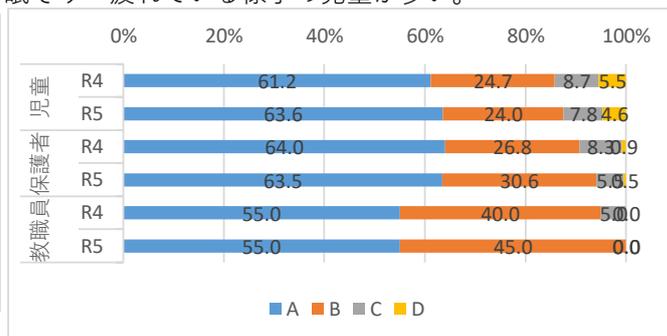
C 週に1～2日は8時間以上寝ている。

C 半数くらいの児童が眠そう、疲れている様子で生活している。

D 8時間以上寝ている日はほとんどない。

D 眠そう・疲れている様子の児童が多い。

		A		B		C		D	
児童	R4	61.2	↑2.4	24.7	↓-0.7	8.7	↓-0.8	5.5	↓-0.9
	R5	63.6		24.0		7.8		4.6	
保護者	R4	64.0	↓-0.5	26.8	↑3.8	8.3	↓-2.9	0.9	↓-0.4
	R5	63.5		30.6		5.5		0.5	
教職員	R4	55.0	0.0	40.0	↑5	5.0	↓-5	0.0	0
	R5	55.0		45.0		0.0		0.0	



・質問項目1…児童・保護者・教職員ともにC・D回答が減少し、良好である。児童のD回答について保護者が把握できていない理由として、児童が就寝状態に入りながらも、熟睡できていなかったことが推測される。良質な睡眠について児童に指導するとともに、家庭での様子を共有し、十分な睡眠時間の確保ができるよう個別に対応していく。

2 あなたは体育の授業や休み時間に、いっしょけんめい運動に取り組んでいますか。

A どの運動でもいっしょけんめい活動している。

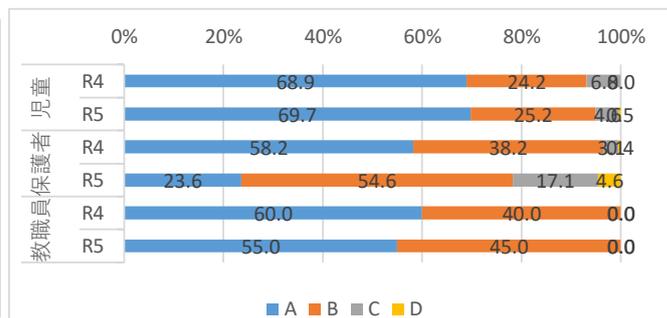
健康

B 好きな運動ならばいっしょけんめいに活動している。

C 運動が苦手なので、あまり活動していない。

D 運動が苦手なので、活動していない。

		A		B		C		D	
児童	R4	68.9	↑0.8	24.2	↑1	6.8	↓-2.3	0.0	↑0.5
	R5	69.7		25.2		4.6		0.5	
保護者	R4	58.2	↓-34.6	38.2	↑16.4	3.1	↑14	0.4	↑4.2
	R5	23.6		54.6		17.1		4.6	
教職員	R4	60.0	↓-5	40.0	↑5	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	55.0		45.0		0.0		0.0	



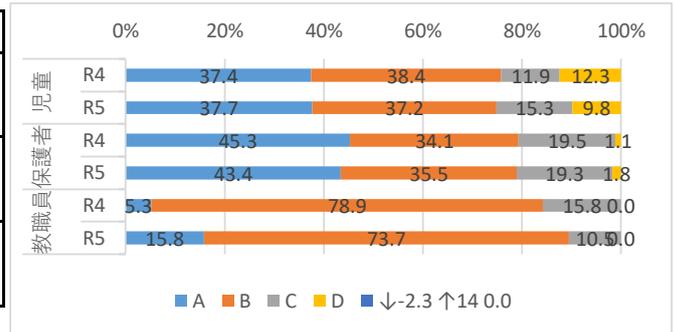
・質問項目2…保護者のA回答が減少しC・D回答が増加したのは、土日祝日の様子を問う設問にしたためと推測される。体育の授業や年間のマラソン・なわとびタイムを通して、児童が「苦手な運動もあるけれど、体を動かすのが楽しい」と感じられる取組を継続していく。

- 3 (1)あなたは、タブレットやゲームを家で一日どのくらいの時間やっていますか。(児童)
 (2)お子様がタブレットやゲームをしているとき、注意していることは何ですか。(複数回答可)(保護者)
 (3)児童に毎月の「ノーメディア・デー」の実践を促していますか。(教職員)

- (1)A 0～1時間 (2)A 時間 (3)Aノーメディア・デー以外にも意識させるようにしている。
 B 1～3時間 B 目からの距離 Bノーメディア・デーには意識させるようにしている。
 C 3～5時間 C 姿勢 C忘れてしまうことがある。
 D 5時間以上 D 特になし Dほとんど意識させていない。

健康

		A		B		C		D	
児童	R4	37.4		38.4		11.9		12.3	
	R5	37.7	↑0.2	37.2	↓-1.1	15.3	↑3.5	9.8	↓-2.6
保護者	R4	45.3		34.1		19.5		1.1	
	R5	43.4	↓-1.9	35.5	↑1.4	19.3	↓-0.2	1.8	↑0.6
教職員	R4	5.3		78.9		15.8		0.0	
	R5	15.8	↑10.5	73.7	↓-5.3	10.5	↓-5.3	0.0	0.0

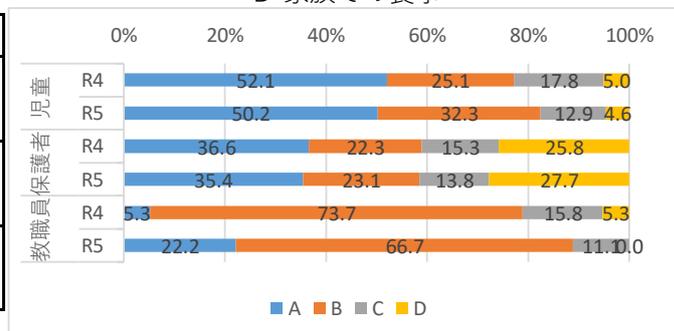


・質問項目3…児童の設問を「家で」と限定したものの、C・D回答が変わらない。保護者が「時間」を注意しているにも関わらず、児童の意識が低下し、保護者が家庭での対応に苦慮していることも懸念される。メディアコントロールについては、学校・家庭がより一体となった取組が必要である。児童会委員会からの呼び掛けを継続するとともに、自分手帳の活用や睡眠の大切さについてお便り等を通して啓発していく。

- 4 (1)あなたは、残さないで食事をしていますか。(児童・教職員)
 (2)お子様が食事をする際に、気をつけたいことは何ですか。(複数回答可)(保護者)
- (1)A ほぼ毎食残さないで食事をしている。 (2)A 食事の栄養バランス
 B 苦手な物以外は残さないで食事をしている。 B 食事の量
 C 苦手な物も好きな物ときどき残して食事をする。 C 食事をする時刻
 D 毎食残して食事をしている。 D 家族での食事

健康

		A		B		C		D	
児童	R4	52.1		25.1		17.8		5.0	
	R5	50.2	↓-1.8	32.3	↑7.1	12.9	↓-4.9	4.6	↓-0.4
保護者	R4	36.6		22.3		15.3		25.8	
	R5	35.4	↓-1.2	23.1	↑0.7	13.8	↓-1.5	27.7	↑2
教職員	R4	5.3		73.7		15.8		5.3	
	R5	22.2	↑17	66.7	↓-7	11.1	↓-4.7	0.0	↓-5.3



・質問項目4…児童のB回答、教職員のA回答が増加し、保護者のA回答も多い。給食だよりを通して保護者に給食のメニューを紹介したり、新入生の試食会の機会を設けたりして、栄養バランスの取れた食事について家庭と学校が連携した取組を継続していく。

5 あなたは、楽しく登校することができますか。

A 毎日楽しく登校している。

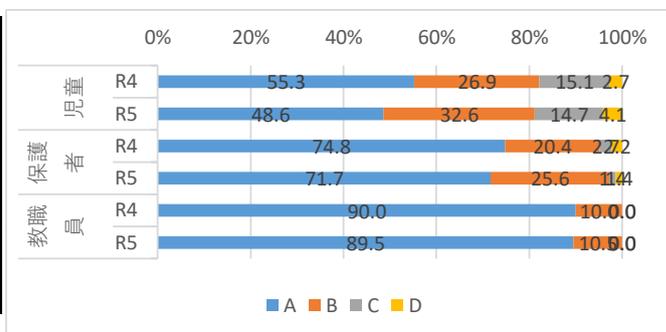
B ほぼ毎日楽しく登校できている。

健康

C 苦手な学習や友人関係で悩みがあると、登校したくないと思うことがある。

D あまり楽しく登校できていない。

		A		B		C		D	
児童	R4	55.3	↓-6.6	26.9	↑5.6	15.1	↓-0.4	2.7	↑1.4
	R5	48.6		32.6		14.7		4.1	
保護者	R4	74.8	↓-3.1	20.4	↑5.2	2.7	↓-1.3	2.2	↓-0.8
	R5	71.7		25.6		1.4		1.4	
教職員	R4	90.0	↓-0.5	10.0	↑0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	89.5		10.5		0.0		0.0	



・質問項目5…児童・保護者・教職員共にA・B回答が高く、8割の児童が楽しく登校していると回答している。しかしながら、C・D回答している児童がいることには変わりなく、今後も留意していく必要がある。家庭へのこまめな連絡を継続し、月一回の生活アンケートやチャンス相談を基に、登校の妨げになることを早期に取り除くとともに、分かるできる授業の実践に努めていく。

6 あなたは、学校での出来事や友達のことを家族と話しますか。

A ほぼ毎日自分から話している。

B 何かあったときには、自分から話している。

健康

C 聞かれれば話している。

D ほとんど話していない。

		A		B		C		D	
児童	R4	54.8	↓-13.6	27.9	↑7.3	11.9	↑5.7	5.5	↑0.5
	R5	41.2		35.2		17.6		6.0	
保護者	R4	41.3	↓-2	48.9	↓-1.8	9.8	↑3.3	0.0	↑0.5
	R5	39.4		47.1		13.1		0.5	
教職員	R4	回答不要の項目							
	R5	回答不要の項目							



・質問項目6…児童・保護者ともにC・D回答が微増し、児童のA回答は半数を切ってしまうている。家庭科の学習や学級活動などにおいて、家庭生活時間を振り返る機会を設け、メディアコントロールとともに家族団らんの時間の確保について啓発していく。

7 あなたは、困ったことや悩みがあるときに誰に相談しますか。（複数回答可）

A 親や家族に相談する。

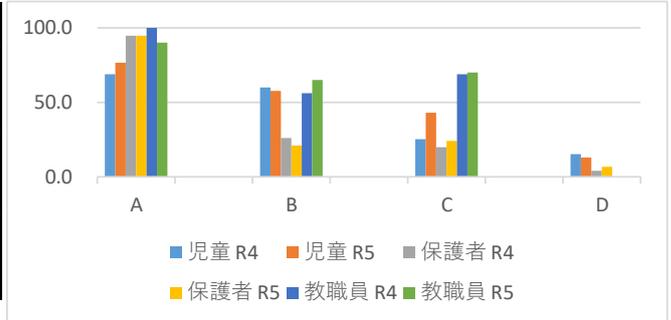
B 友達に相談する。

C 学校の先生（教職員、スクールカウンセラー、心の教室相談員等）に相談する。

D 誰にも相談しない。

健康

		A		B		C		D	
児童	R4	68.9	↑7.7	59.8	↓-2	25.1	↑18	15.1	↓-2.2
	R5	76.6		57.8		43.1		12.8	
保護者	R4	94.7	↓-0.1	26.2	↓-5.3	20.0	↑4.1	4.0	↑2.8
	R5	94.5		20.9		24.1		6.8	
教職員	R4	100.0	↓-10	56.3	↑8.8	68.8	↑1.3	0.0	0.0
	R5	90.0		65.0		70.0		0.0	



・質問項目7…児童が「困ったことや悩みがあるときに相談する」相手として最も多いのが「親や家族」であるが、「学校の先生」は少ない。学校では、日常生活において児童に積極的に声をかけるとともに、相談の機会を設けたり、スクールカウンセラーを活用したりするなどして、相談しやすい体制作りをし、情報を得るようにしていく。

8 あなたは、授業でしっかり先生の話聞いて、質問されたことに対して自分の考えを答えていますか。また、わからないことは質問するようにしていますか。

A 自分の考えを発表し、分からないところを質問している。

(教職員) Aほとんどの児童ができています。

B 自分の考えを発表しているが、分からないところがそのままになっていることがある。

B半数くらいの児童ができています。

C ときどき発表したり、質問をしたりする。

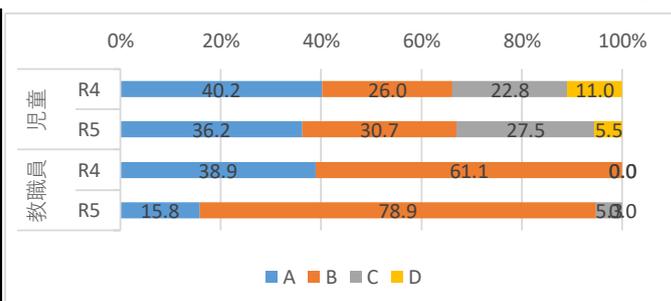
C 2～3割の児童ができています。

D 発表も質問もほとんどしない。

Dほとんどの児童ができていない。

自主

		A		B		C		D	
児童	R4	40.2	↓-3.9	26.0	↑4.7	22.8	↑4.7	11.0	↓-5.5
	R5	36.2		30.7		27.5		5.5	
保護者	R4	回答不要の項目							
	R5	回答不要の項目							
教職員	R4	38.9	↓-23.1	61.1	↑17.8	0.0	↑5.3	0.0	0.0
	R5	15.8		78.9		5.3		0.0	



・質問項目8…児童のD回答が減少し、教職員はB回答が増えている(Cは一人)。授業での自己表現力は少しずつ高まってきている。教師は児童の困り感を見とる力を高め、「授業スタンダード」「田村市版ミニマム授業スタイル」を活用して誤答を生かす授業の展開や、発表・質問しやすい雰囲気作りを今後も継続していく。

9 あなたは、学校の授業がわかりやすいと思いますか。

A ほとんどの授業がわかりやすい。

(教職員) A 8割以上の児童が理解していると思う。

B わかりやすい授業が多い。

B 8割未満7割以上の児童が理解していると思う。

C あまりわかりやすすくない。

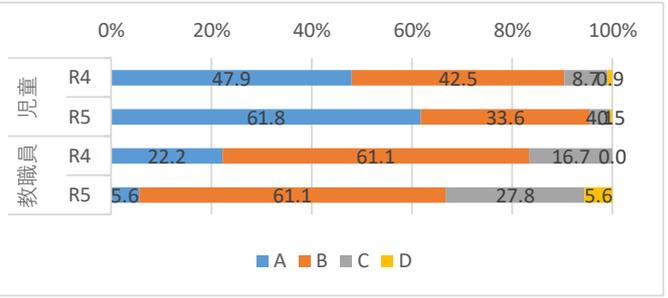
C 7割未満6割以上の児童が理解していると思う。

D 授業の内容がわからない。

D 6割未満の児童が理解していると思う。

自主

		A		B		C		D	
児童	R4	47.9	↑13.8	42.5	↓-8.8	8.7	↓-4.5	0.9	↓-0.5
	R5	61.8		33.6		4.1		0.5	
保護者	R4	回答不要の項目							
	R5	回答不要の項目							
教職員	R4	22.2	↓-16.7	61.1	0.0	16.7	↑11.1	0.0	↑5.6
	R5	5.6		61.1		27.8		5.6	



・質問項目9…児童の6割がA回答でC・D回答が減っている一方、教職員のC・D回答が増えている。これは、教師が「本当にわかっているか」という意識で授業をしている表れであるといえる。今後も、「授業スタンダード」「田村市版ミニマム授業スタイル」を活用した「分かる・できる」授業を目指した授業改善に努めるとともに、児童の「メタ認知力」を高めていく。

10 (1)あなたは、家で勉強をしていますか。(勉強：宿題と自主学习) (児童・保護者)

(2)児童は、宿題や自主学习ノート等をきちんと提出していますか。(教職員)

(1)A 人から言われなくても、毎日勉強をしている。

(2)Aほとんどの児童が提出できている。

B 人から言われなくても、宿題のみしている。

B半数くらいの児童が提出している。

C 人から言われて、勉強している。

C 2～3割の児童が提出している。

D 家ではほとんど勉強をしていない。

D催促しても提出が見られない児童が多い。

自主

		A		B		C		D	
児童	R4	45.7	↑4.6	30.1	↓-2.5	21.9	↓-2.6	2.3	↑0.5
	R5	50.2		27.6		19.4		2.8	
保護者	R4	27.2	↑1.4	40.4	↓-2.2	27.2	↑1.4	5.3	↓-0.7
	R5	28.6		38.2		28.6		4.5	
教職員	R4	76.5	↑11.8	23.5	↓-11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	88.2		11.8		0.0		0.0	



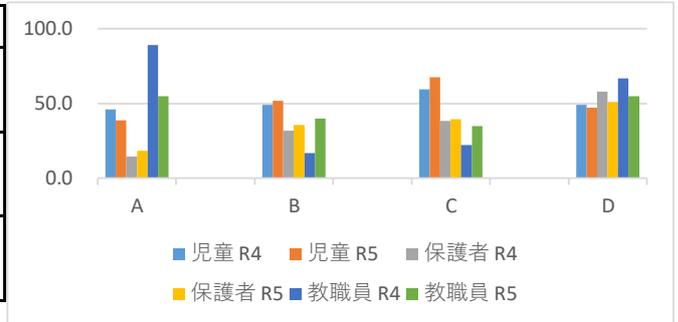
・質問項目10…児童の半数がA回答、保護者はB回答が最も高い。教職員も提出状況について高評価である。しかし、学力状況調査では学習内容の定着に課題があり、学習意欲の低さは学校全体の課題でもある。「家庭学習スタンダード」を活用して、児童の自己マネジメント力を身に付けられるよう、児童に指導し、保護者に啓発していく。

11 あなたは、学習でどのようなことをがんばっていますか。（複数回答可）

- A 授業で勉強したことをまとめたり、発表したりすること。
- B 宿題以外の自主学習にも取り組むこと。
- C できないところや分からないところをなくすこと。
- D 好きな学習や得意な学習に取り組むこと。

自主

		A		B		C		D	
児童	R4	46.1	↓-7.6	48.9	↑3	59.4	↑8.1	48.9	↓-1.6
	R5	38.5		51.8		67.4		47.2	
保護者	R4	14.5	↑3.7	31.8	↑3.7	38.3	↑1.2	57.9	↓-7
	R5	18.2		35.5		39.5		50.9	
教職員	R4	88.9	↓-33.9	16.7	↑23.3	22.2	↑12.8	66.7	↓-11.7
	R5	55.0		40.0		35.0		55.0	



・質問項目11…児童は、学習で「できないことや分からないことをなくす」ことをがんばっていると思っている。教職員は児童の自己肯定感が高まるような声掛けをさらに増やすとともに、児童のがんばりが表面化するよう、日々の振り返りの場を工夫していく。また、自主学習に対する教職員の評価が高まっており、今後も継続して指導していく。

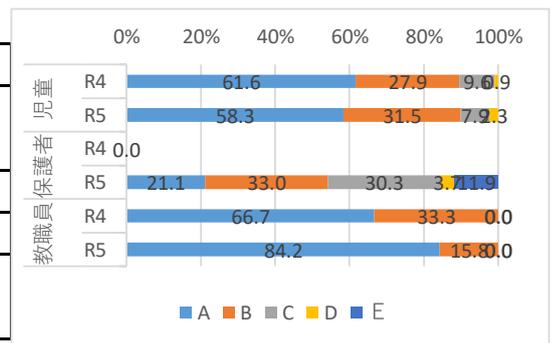
12 あなたは、日直や係、委員会活動に進んで取り組んでいますか。（児童・教職員）

お子様の、家族の一員としての役割への取り組み状況についてお聞きします。（保護者）

- A 自分の仕事(役割)を忘れずに行い、他の仕事(役割)にも気付いて活動している。
- B 友人と一緒にであれば、進んで活動することができる。
- C 誰かに声をかけてもらわないと、仕事(役割)ができないことがある。
- D 自分の仕事(役割)を忘れることが多い。
- E 役割を与えていない。（保護者のみ）

自主

		A		B		C		D		E	
児童	R4	61.6	↓-3.3	27.9	↑3.6	9.6	↓-1.7	0.9	↑1.4	-	-
	R5	58.3		31.5		7.9		2.3		-	
保護者	R4	回答不要の項目									
	R5	21.1	-	33.0	-	30.3	-	3.7	-	11.9	-
教職員	R4	66.7	↑17.5	33.3	↓-17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	R5	84.2		15.8		0.0		0.0		-	



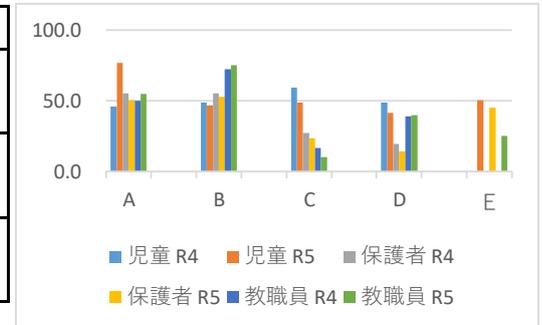
・質問項目12…教職員は8割以上がA回答であり、児童の自主性を認めている。児童の中にはC・D回答をしている者もあり、自分から進んで仕事に取り組めるよう、役割を明確にしたり称賛したりして、児童の自己有用感を高めていく。また今年度初めて家庭での取り組み状況を知ることができた。役割を与えていない家庭も1割あったため、家族の一員としての自覚が生まれるように、児童と家庭に働きかけていく。

13 あなたが学習以外で、進んで取り組むことができていると感じるものはどのようなことですか。（複数回答可）

- A あいさつ。
- B 他人を思いやった行動・言動。
- C 清掃や身の回りの整理整頓。
- D ボランティア活動。（困っている人に手を貸してあげることも含む）
- E 持ち物や学習用具の準備

自主

		A	B	C	D	E
児童	R4	46.1	48.9	59.4	48.9	—
	R5	76.6	46.8	48.6	41.3	50.5
保護者	R4	55.3	55.3	27.2	19.4	—
	R5	50.5	52.7	23.6	14.1	45.0
教職員	R4	50.0	72.2	16.7	38.9	—
	R5	55.0	75.0	10.0	40.0	25.0



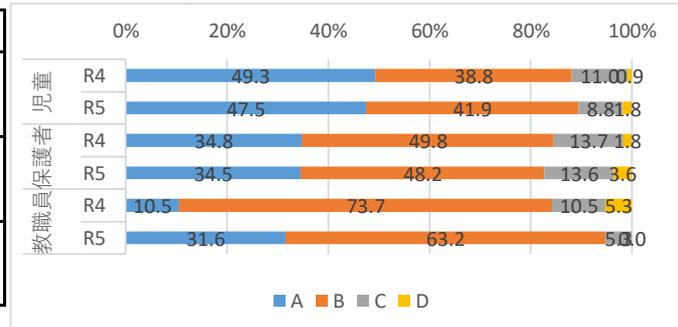
・質問項目13…児童はあいさつを意識して行っていることがわかる。保護者・教職員が「思いやった行動・言動ができている」と感じているのに対し、児童はそこまでできているとは感じていない。一方「清掃や整理整頓」については児童ができている「つもり」になっているとも推測される。相手を思いやった行動を称賛すると共に自分のことをこれまで以上にしっかり行うよう声掛けをしていく。

14 あなたは誰に対してもあいさつをすることができますか。

- A 誰に対しても自分からあいさつをしている。
- B あいさつをしようと思っているが、自分からできないことがある。
- C 相手からあいさつをされれば、あいさつを返すようにしている。
- D 相手にあいさつをされてもあいさつ返すことがなかなかできない。

礼儀

		A	B	C	D
児童	R4	49.3	38.8	11.0	0.9
	R5	47.5	41.9	8.8	1.8
保護者	R4	34.8	49.8	13.7	1.8
	R5	34.5	48.2	13.6	3.6
教職員	R4	10.5	73.7	10.5	5.3
	R5	31.6	63.2	5.3	0.0



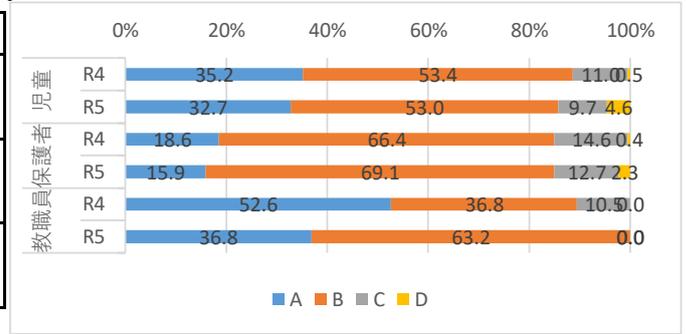
・質問項目14…教職員のA回答が増加しており、児童のあいさつの質が高まっていると感じている。一方で、児童・保護者のD回答が微増しており、地域の方々にも自分から進んであいさつするよう指導を継続するとともに、児童会でも取り上げて呼び掛けていく。

15 あなたは時と場に応じた言葉づかいをしていますか。

- A 誰に対しても正しい言葉づかいをしている。
- B 正しい言葉づかいを意識しているが、時々できないことがある。
- C 正しい言葉づかいをすることがあまりできていない。
- D 正しい言葉づかいをすることがほとんどできない。

礼儀

		A		B		C		D	
児童	R4	35.2		53.4		11.0		0.5	
	R5	32.7	↓-2.4	53.0	↓-0.4	9.7	↓-1.3	4.6	↑4.2
保護者	R4	18.6		66.4		14.6		0.4	
	R5	15.9	↓-2.7	69.1	↑2.7	12.7	↓-1.9	2.3	↑1.8
教職員	R4	52.6		36.8		10.5		0.0	
	R5	36.8	↓-15.8	63.2	↑26.3	0.0	↓-10.5	0.0	0.0



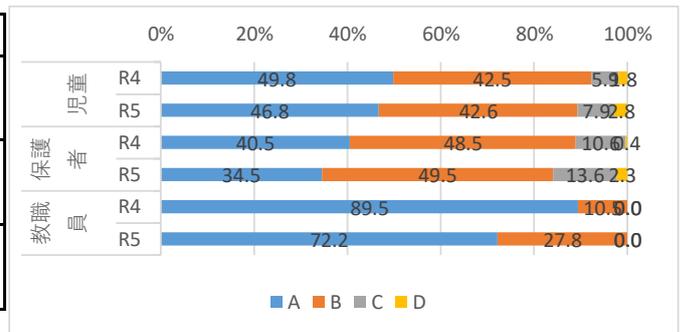
・質問項目15…児童・保護者・教職員ともにA回答が減っている。また、15%の家庭において正しい言葉づかいがあまりできていないと保護者が見ていることから、授業はじめ学校生活全体を通して表現活動の場を設定して、正しい言葉づかいの指導をし、できていることを保護者へ伝えていくとともに、家庭での言語環境についてお願いしていく。

16 あなたは、家族や友達に思いやりをもって接することができますか。

- A いつも思いやりをもって接している。
- B 思いやりをもって接しようとしているが、できないことがある。
- C 自分のことを優先することが多く、できないことが多い。
- D 自分のことを優先するため、できていない。

礼儀

		A		B		C		D	
児童	R4	49.8		42.5		5.9		1.8	
	R5	46.8	↓-3	42.6	↑0.1	7.9	↑1.9	2.8	↑1
保護者	R4	40.5		48.5		10.6		0.4	
	R5	34.5	↓-6	49.5	↑1.1	13.6	↑3.1	2.3	↑1.8
教職員	R4	89.5		10.5		0.0		0.0	
	R5	72.2	↓-17.3	27.8	↑17.3	0.0	0.0	0.0	0.0



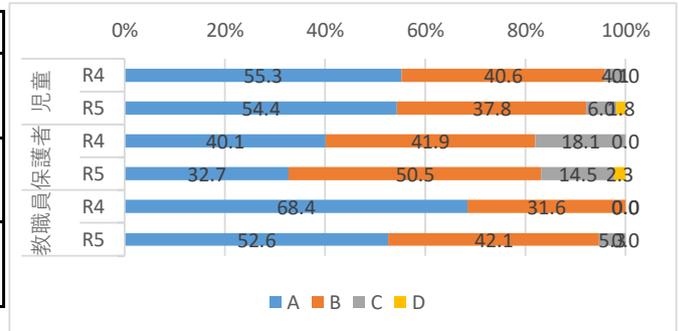
・質問項目16…児童・保護者・教職員ともにA回答が減少しB回答が増えている。今後も道徳科の授業を核に、学校教育活動全体を通じた指導をしていく。また、児童・保護者のC・D回答が増えていることから、自分のことをしっかりとすることとともに、相手にも思いやりをもって接することができるように、個別に指導していく。

17 あなたは、家族や友達に、心からの「ありがとう」や「ごめんなさい」等の言葉を素直に言うことができますか。

- A 素直に言うことができる。
- B 言おうとするが、言えないことがある。
- C 恥ずかしさや照れくささがあってなかなか言えない。
- D ほとんど言うことができない。

礼儀

		A		B		C		D	
児童	R4	55.3	↓-0.9	40.6	↓-2.9	4.1	↑1.9	0.0	↑1.8
	R5	54.4		37.8		6.0		1.8	
保護者	R4	40.1	↓-7.4	41.9	↑8.6	18.1	↓-3.5	0.0	↑2.3
	R5	32.7		50.5		14.5		2.3	
教職員	R4	68.4	↓-15.8	31.6	↑10.5	0.0	↑5.3	0.0	0.0
	R5	52.6		42.1		5.3		0.0	



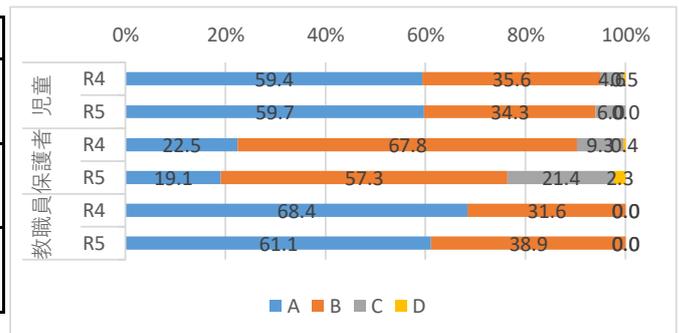
・質問項目17…C・D回答が増えているのは、今年度「心からの」という文言を加えたため、厳しめに評価したことが推測される。言葉によって伝えることの大切さについて、国語科や道徳科の授業をはじめ、学校生活全体を通して指導していく。

18 あなたは、学校やその他の公共施設、物を大切に生活していますか。

- A 大切に使用し、清掃や整理整頓もしている。
- B 大切に使用しようとしている。
- C 大切に使用すべきだと分かっているが、できないことが多い。
- D 大切に使用することができない。

礼儀

		A		B		C		D	
児童	R4	59.4	↑0.4	35.6	↓-1.4	4.6	↑1.5	0.5	↓-0.5
	R5	59.7		34.3		6.0		0.0	
保護者	R4	22.5	↓-3.4	67.8	↓-10.6	9.3	↑12.1	0.4	↑1.8
	R5	19.1		57.3		21.4		2.3	
教職員	R4	68.4	↓-7.3	31.6	↑7.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	61.1		38.9		0.0		0.0	



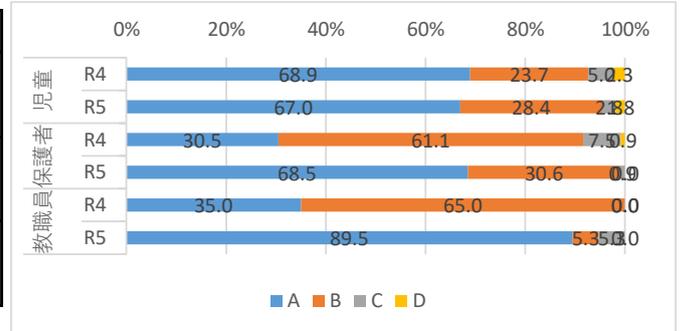
・質問項目18…保護者のC回答が児童・教職員に比べて多い。学校でできていることを保護者に伝えていくとともに、見学学習時や道徳科の授業をとおしてルールやマナーの指導を継続し、家庭での取組についてお願いしていく。

19 あなたは、常葉小中や地域ボランティアの方々といっしょに活動（授業や行事）をすることについてどう思いますか。

- A とてもいいと思う。
- B いいところが多いと思う。
- C いいところをあまり感じない。
- D いいところを感じない。

礼 儀

		A		B		C		D	
児童	R4	68.9	↓ -2	23.7	↑ 4.7	5.0	↓ -2.3	2.3	↓ -0.4
	R5	67.0		28.4		2.8		1.8	
保護者	R4	30.5	↑ 38	61.1	↓ -30.5	7.5	↓ -6.6	0.9	↓ -0.9
	R5	68.5		30.6		0.9		0.0	
教職員	R4	35.0	↑ 54.5	65.0	↓ -59.7	0.0	↑ 5.3	0.0	0.0
	R5	89.5		5.3		5.3		0.0	



・質問項目19…保護者・教職員のA回答が増加している。幼稚園児・中学生との交流や、地域の方々との授業の様子などについて、「小中一貫のよさ・効果」としてHPや学年だよりなどで積極的に発信してきた表れであると考えられる。今後も引き続き、望ましい交流のあり方を幼稚園・中学校と連携して推進していく。

20 その他、ご意見・ご感想等がありましたらご記入ください。

- ・先生方がとても親身になって教育されていると思います。学校も楽しく行っているので、一番いいことだと思います。
- ・常葉にあるスポ少の一覧があればほしい。
- ・先生達は、やさしく、とてもよくて、素晴らしいです。ありがとうございます。
- ・日頃のご指導いつもありがとうございます。朝の徒歩での登校を嫌がったりすることはありますが、学校は嫌がらずに行けていることをすごくうれしく思います。担任の先生が大好きで来年になって先生が替わるのが嫌だと言っていました。先生やお友達に恵まれていて支えてもらっているの、今度はお友達のために思いやれる子になってほしいです。
- ・日頃のご指導いつもありがとうございます。昨年と比べると楽しそうに学校生活を送っていて、担任の先生をととても信頼しているのがよくわかります。
- ・宿題が多いと感じることが多い。
- ・アンケートに答える中で、田村っ子のルール10を思い出しました。上の子のときにいつも実践できているか親子で確認していましたが、現在は田村っ子のルール10はないのでしょうか。小さい頃から実践していれば、社会人になってから困ることはないと思います。現在の社会人には、この田村っ子のルール10ができない子がたくさんいます。社会に出てから恥をかくことのないよう、今から心がけておくことが大事だと思いました。